

NEWS RELEASE

2017年4月11日
トヨタ紡織株式会社
三井化学株式会社

トヨタ紡織と三井化学が、高耐衝撃プラスチックの 特許実施許諾契約を締結

～三井化学製の改質材として「高耐衝撃プラスチック」の採用拡大を目指す～

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：石井 ^{いしい よしまさ} 克政、以下：トヨタ紡織）と三井化学株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：淡輪 ^{たんのわ つとむ} 敏、以下：三井化学）は、昨年11月より「高耐衝撃プラスチック」の事業化に向けた業務提携を検討してきましたが、このたび、トヨタ紡織が保有する「高耐衝撃プラスチック」に関する特許を、三井化学が使用し事業化することについて許諾契約を締結しました。

契約締結により、「高耐衝撃プラスチック」をプラスチックの衝撃改質材として利用することについて、三井化学の製造技術、設備、販路を活用し、三井化学製の改質材のひとつとして、自動車市場や産業財、消費財市場における採用拡大を目指します。

トヨタ紡織は、株式会社豊田中央研究所と共同開発した世界トップクラスの衝撃強度を有する「高耐衝撃プラスチック」を、プラスチックの耐衝撃性能を向上させる「改質材」として利用する方法を開発し、自動車用シートやドアトリムなど自社部品だけでなく、他部品や自動車分野以外においても耐衝撃性を要する樹脂製品への採用拡大を期待し、三井化学と事業化を検討してきました。

今後、三井化学は、改質材領域における高い技術的知見と販路を活かして「高耐衝撃プラスチック」の普及を図り、トヨタ紡織は、自動車の安全性能向上へ寄与する自動車用シートやドアトリムなどへの採用も検討し、自社製品の競争力強化を目指していきます。

以上